13 DECEMBER 2016

世界津波の日 シンポジウム

シアの高校生計5人も駆け付け、サミットの成果を れた「高校生サミット」に参加した日本とインドネ ントホテルで開かれた。11月、高知県黒潮町で開か るシンポジウムが15日、 日)の関連行事を総ちし、津波防災の啓発につなげ ことし初めて迎えた 防災意識を新たにした。 一央ジャカルタのフェアモ 「世界津波の日」(11月5 (木村綾、写真も)

も多いのはインドネシア。 波が最も多いのは日本だ ンター (ERIA) の西村 ジア・アセアン経済研究セ 私たちが一緒に力を合わせ フ・カラ副大統領は、 英俊事務総長が開会を宣 を整えることがとても重要 災害が起きた時の準備体制 て、一般国民に知らしめ、 シンポジウムでは、東ア 開会式に出席したユス (津波の) 犠牲者が最 ることはできる」とサミッ

津波の日』高校生サミッ 黒潮町に集まり、「『世界 30カ国362人の高校生が 災害はいつでも起こり得る でも、経験を生かして備え ポジウムで登壇し、 ットに参加した一人。シン 中井充歩さん(16)もサミ し、事前に予測できない。 日高高校(和歌山県)の 」が開催された。 「自然

> 地域で広めていきたい」と 854年の安政南海地震の 震・津波で両親と兄を亡く ら救った豪商・浜口梧陵の 民を高台に誘導し、津波か したムハンマドさんは、 浜口梧陵の精神を私たちの 話に感銘を受けた。「若き 、津波防災)大使として、 04年のスマトラ島沖地 稲わらに火を付けて住

波想定高を突きつけられ 最大となる34メートルの津 ラフ地震の被害想定で全国 は2012年3月、南海ト サミット開催地の黒潮町 フット海事調整相は「国家

取り組み続けてきた。 かれる中、大西勝也町長は はあきらめた」との声が聞 た。あまりの高さに「避難 重ね、「徹底的な防災」 住民と千回を超える対話を け合い、被害を最小限に抑 さんは「もし地震が起きて を語った。 私たちが率先して地域で助 津波が黒潮町を襲ったら、 シンポジウムには世界各

ミットの成果を報告。今井 花さん(16)はこの日、サ 今井恋さん(15)と今村琳 た、大方高校(黒潮町)の サミットで議長役を務め

国から政府関係者や有識 意見を交わした。 災に関して知識を共有し、 者、学生らが参加。津波防

ジャカルタースラバヤ間 鉄道建設はPPP」 ルフット海事調整相

800キロ)の鉄道建設に ヤカルタースラバヤ間(約 政府と協議を進めているジ ン海事調整相は15日、日本 組みで建設していく考えを 民パートナーシップ)の枠 ついて、民間の資金やノウ ハウを活用するPPP(官

話した。

ルフット・パンジャイタ い方針を確認した」と説 開発計画省 明。民間に建設資金を全額 ェクトに国家予算を使わな 議論しジャワ島内のプロジ を詰める。 日前に再度バペナスと詳細 民連携による事業を検討し 負担させるのではなく、 ていると話した。 (バペナス)と 来週の訪

政策金利を据え置き 中銀4.75%

利を4・75%に据え置くと 中央銀行は15日 、政策金

海事調整省によると、

告する高校生ら ミットin黒潮町」の成果を報 「『世界津波の日』高校生サ

11月25、26両日には、世界 れ、以来、世界各地で啓発 15年12月に国連で採択さ イベントが行われてきた。 世界津波の日」は20 せ、「稲むらの火」の逸話 ん(17)はサミットに合わ ンマド・ハイカル・ラジさ

だと思う」と述べ、防災面

での連携を訴えた。

(バンダアチェ市)のムハ

バンダアチェ第1高校

トの意義を語った。

を訪問した。 で知られる和歌山県広川町